

(様式3)

自己評価結果票

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------|--|---|--------------------|--|
| . 理念に基づく運営 | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | |
| 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 法人の理念を事業所の理念としている。事業所独自の理念は作っていない。 | | |
| 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 入職時に理念の研修を行っている。 日々、職員間で理念に沿ったケアを確認、相談しながら利用者の生活を支援している。 | | 今年から新しく理念を追加したので職員全員が新しい理念を理解しているか確認しながらケアを行っていく |
| 3 | 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる | 家族に、入居の際に重要事項説明書や契約書にて説明と同意を行なっている。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | |
| 4 | 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | 挨拶などは行っている。 エントランスには自由に食べていただけるアイスクリームの機械を設置したり、二階のリハビリ室には本や漫画などを置いて気軽に立ち寄ってもらえるようにしている。 | | |
| 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 職員の不足により以前できていた地域への参加が少なくなっている | | 今後、公園の清掃活動に参加したり、施設でのイベント参加を呼びかけたり積極的に地域活動に参加していきたい。 |

| | 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|---|---|------------------------|---|
| 6 | <p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p> | <p>運営推進会議を通じ地域の方との話し合いを行っている</p> | | <p>具体的な話がでないので実際は取り組めていない。地域に呼びかけていき具体的に話を進めたい。</p> |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | |
| 7 | <p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p> | <p>各職員に第三者評価を実施する意義を伝え、一緒に自己評価を行ってもらうことによって改善などに取り組みやすいようにしている。</p> | | |
| 8 | <p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> | <p>二ヶ月に1度、運営推進会議を開催している。そこで出された意見を職員に伝え改善などに生かしている。</p> | | |
| 9 | <p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p> | <p>必要に応じて行き来し、相談などをさせてもらうこともある。</p> | | |
| 10 | <p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p> | <p>身寄りのない方や生活保護の方など区役所のケースワーカーなどと相談し色々な方に利用できるよう努めている</p> | | |
| 11 | <p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p> | <p>入職時に研修を行っている。また、日々職員間で虐待がどういうことであるかを話し合い、考えてケアにあたっている。</p> | | |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|---|--|------------------------|----------------------------------|
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | |
| 12 | <p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> | <p>契約、解約時には重要事項などの説明を十分にこない納得を得ていただいている。</p> | | |
| 13 | <p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>常に本人の意見を尊重するよう勤めているが、苦情、不満があるときは、受けた職員がすぐに対応するようにしている。</p> | | |
| 14 | <p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p> | <p>電話での報告、来訪時の報告、特変時の報告、など家族の希望に合わせた形でおこなっている。</p> | | |
| 15 | <p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>家族会を開催し、意見や不満、苦情を真摯に受け止めている。また、意見不満、苦情は運営推進会議でも取り上げ、苦情相談窓口を設けている。</p> | | |
| 16 | <p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> | <p>職員会議、フロア会議を開催し意見を聞いている。また、新たにナイスアイデアボードを設置し意見や提案を発言する場を設けている。</p> | | |
| 17 | <p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p> | <p>各フロア、デイサービスにとらわれず対応するよう話し合い、勤務調整を行っている。</p> | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---|--|------------------------|----------------------------------|
| 18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 職員の働きやすい環境ということも考え長く職員が続けていける職場を目指している。 | | |
| 5.人材の育成と支援 | | | |
| 19 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 入職時は新人研修を行っている。また、年間を通してスキルアップ試験を実施しスキルアップの向上を図っている。 | | |
| 20 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 地域のケアマネージャー、福祉用具専門員などと連絡をとってケアの質の向上を目指している | | |
| 21 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる | 入職時に歓迎会を行い親睦をはかったり、リフレッシュや、職員間のコミュニケーションの場として年数回、ボーリング大会など行っている。 | | |
| 22 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている | 年二回個人目標を設定し、その目標の達成を目指し努力してもらう | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|--|---|----------------------------------|
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | |
| 23 | <p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p> | <p>入居前に自宅などに訪問し本人とコミュニケーションをしっかりと信頼関係を築く第一歩にしている。また、常に1対1で向き合う事を心掛けている。</p> | |
| 24 | <p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p> | <p>電話での相談、施設見学、訪問などさまざまな形でご家族の話をしっかりと聞き、ニーズを把握するように努め、信頼関係を築く努力をしている。</p> | |
| 25 | <p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p> | <p>必要であれば、他のサービスを提案したりし対応している。</p> | |
| 26 | <p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気にながら馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | <p>職員が自宅など訪問しご本人と顔合わせをしたり、必要に応じて1週間程度の体験利用をしていただき雰囲気を感じていただく。</p> | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | |
| 27 | <p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p> | <p>職員は介護士としてではなく、ともに生活するパートナーとして日々過ごしている。また、人生の先輩から多くのことを学び、教えていただくという気持ちを持って接している。</p> | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---|--|------------------------|----------------------------------|
| 28 利用者と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている | 家族の変わりに一緒に生活させていただいているという気持ちを持ち、利用者について、何でも話し合えるような関係を気づくよう努力している。 | | |
| 29 利用者との家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの利用者との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | 家族、利用者との連絡調整を行い、必要に応じ面会時の立会いや、自宅などに帰られる際の付き添いなどを行う。 | | |
| 30 馴染みの人や場との関係継続の支援 利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | かかりつけの医院、美容院、お店などへの連絡や送迎、付き添いを行い地域との繋がりが途切れないよう援助を行っている。 | | |
| 31 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | 利用者同士の関係の把握は行うが、必要以上は介入しない。 | | |
| 32 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | 行事等の案内や年始の挨拶（年賀状）を送付している。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------------|--|---|---|
| ・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | |
| 1.一人ひとりの把握 | | | |
| 33 | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p> | <p>利用者と一つ一つのことに相談し、それぞれの意向を大切に希望をかなえられるように努める。意思疎通の困難な方は今までの生活暦や生活のリズムをもとに検討している。</p> | |
| 34 | <p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p> | <p>入居時に本人、家族から情報を得るようにしている。その後はケース記録や介護計画で経過を把握する。</p> | |
| 35 | <p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p> | <p>1日ごとの申し送りノートを使用することによって現状を把握しやすいようにしている。また、ケース記録によって暮らしの現状を把握している。</p> | <p>申し送りノートやケース記録の記入漏れがありしっかりと活用されていないときがあるのでしっかり記入する。</p> |
| 2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | |
| 36 | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p> | <p>利用者にとってより良い状況を常に話し合うようにしている。介護計画を作成するときに会議を開いている。</p> | <p>その都度話し合うも、職員全員に伝わるまで時間がかかるので対応が遅れる場合がある。もう少し、会議をこまめにする必要がある。</p> |
| 37 | <p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p> | <p>半年に1度と、介護保険更新の場合、見直し作成やを行っている。変化があればその都度見直しを行っている。</p> | <p>介護計画を作成しても家族に説明しサインを頂くことが遅れがちのため、計画的に家族への説明をしていく必要がある。</p> |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------------|---|--|--------------------|---|
| 38 | <p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p> | <p>日々の生活の様子、特記はケース記録に記入している。また、介護計画の見直しの際はモニタリング用紙を使用している。</p> | | <p>日々の生活での工夫や気づきなど、口頭での伝達が多くケース記録にしっかり記入していくよう徹底する。</p> |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | |
| 39 | <p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p> | <p>必要に応じてその都度、相談させていただきベストな方法を選択している。</p> | | |
| 4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | |
| 40 | <p>地域資源との協働</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p> | <p>利用者一人での外出の際は警察や民間の方と連携し支援している。</p> | | |
| 41 | <p>他のサービスの活用支援</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p> | <p>運営推進会議を開催しており話し合いの場を設けている。</p> | | |
| 42 | <p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p> | <p>運営推進会議等で、その都度協力しながら行なっていくことを確認し合っている。</p> | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--|--|------------------------|--|
| 43 かかりつけ医の受診支援 利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 協力医に2週間に1度、または必要時に往診に来てもらっている。また、他にもかかりつけ医院がある方は受診の支援をしている。 | | |
| 44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | 協力医に往診してもらっている。 | | 協力医に相談等をしているが今まで以上に協力医との連携が取れるようにしていく。 |
| 45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | 担当看護師に状況を把握してもらいいつでも相談できる体制を整えている。 | | 11月から医療連携をはじめ、看護職員、介護職員の連携を密に図っていく。 |
| 46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | 入院の際は利用者の不安を取り除き、安心して治療に当たれるようお見舞いに行っている。まその都度、医師や看護師から情報を聞いている。 | | |
| 47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 家族、協力医、職員で、本人にとって良い対応をはなしあっている。 | | |
| 48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | 協力医や病院との連携をとり、緊急時等の対応などを行う。また、他の施設や病院等、利用者の状況に応じて検討したり準備している。 | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|---|---|----------------------------------|
| 49 | <p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p> | 住み替えによる混乱を最小限になるよう、タンスや食器などなじみのものを持ってきていただいたり、ケアカンファレンスに参加していただき情報を収集するようにしている。 | |
| <p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> | | | |
| <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> | | | |
| <p>(1)一人ひとりの尊重</p> | | | |
| 50 | <p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p> | 個人情報保護法の説明をし、同意書に捺印を頂いて取り扱いに注意している。また、お一人お一人に尊敬の念を持ち対応し、伝えやすい声がけを心掛けている。 | |
| 51 | <p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p> | 利用者がしっかりと気持ちを伝えられるようにゆっくり話を聞いている。また、納得されるまで話しや相談をしている。 | |
| 52 | <p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> | 決まり事は作っておらず、利用者の希望に対応するようにしている。その都、度利用者に声をかけたり段取りも利用者とは相談しながら行っている | |
| <p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p> | | | |
| 53 | <p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p> | 服装は今までと変わらないように、ご自分で選んでいただく。美容院も本人の希望する店に行っている。 | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--|---|--------------------|---|
| 54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 季節に合わせた食事を出したり、盛り付けの工夫や好みのものをアセスメントし献立をたてている。また、野菜の皮むきなど利用者に負担のない程度で一緒に準備をしている。 | | |
| 55 利用者の嗜好の支援 利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している | お菓子などをリビングに準備したり、自分で買い物に行ったり、毎週火曜日の移動パン屋などで買い物を楽しめるようにしている。 | | |
| 56 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | 排泄パターンの把握に努めており、昼寝の時間を排泄確認の時間にしたりと工夫している。 | | 個別の排泄状況を記録、測定などをしっかりと把握できるよう工夫していきたい。 |
| 57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 利用者と相談の上、時間は決めている。 | | 車椅子の利用者は二人介助にて行うため、本人のタイミングなどで入浴できないこと現状である。アロマや入浴剤などでの楽しみを増やしたい。 |
| 58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | 状況に応じて声をかけさせていただいている。本人の生活パターンに合わせている。 | | |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | |
| 59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 畑をしたり、習慣である散歩やラジオ体操をしたり、移動パン屋に買い物に出たりなどの楽しみに支援をしている。 | | 個々の希望に合わせて外出の機会が持てるようにしたい。 |

| | 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------|---|---|------------------------|--|
| 60 | <p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p> | <p>預かり金があり自由に使えるようにしている。また、希望に応じて個々でお金を持っていただき、出納長などの記入も支援している。</p> | | |
| 61 | <p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p> | <p>散歩や買い物に出かけたりなどの支援をしている。</p> | | <p>外出を希望される方が決まっているので、車椅子を使用されている方にも声をかけ外出の機会を増やしたい。</p> |
| 62 | <p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p> | <p>希望があればご家族と一緒に外出している。</p> | | |
| 63 | <p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p> | <p>電話の使用は自由で必要があれば介助している。携帯を使用している方もいる。また、文通をしている方もおられる。</p> | | |
| 64 | <p>家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p> | <p>訪問時間は決まっておらず自由で、訪問時にはお茶を出したり、家族、利用者とのコミュニケーションをとるよう努めている。</p> | | |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | |
| 65 | <p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p> | <p>新人研修で研修する。利用者の生活パターンや動線、身体、精神状況をよく観察し、拘束をしない工夫をしている。</p> | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--|---|------------------------|----------------------------------|
| 66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 利用者主体との考えのもと、日中は誰もが施設に行き来できるよう鍵は掛けないようにしている。夜間は防犯上を理由に施錠している。 | | |
| 67 利用者の安全確認 利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | 職員間で連携して利用者の行動や所在を確認、把握している。 | | |
| 68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | 状況に応じ、洗剤などは夜間は棚に片付けたりなどの対応を行っている。 | | |
| 69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | 食事の提供の仕方や、歩行状況、など常に職員間で確認しながら行っている。外出時は了解を得て同行させていただいたりしている。 | | |
| 70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | 新人研修で緊急時の対応を研修する。また緊急時の対応マニュアルをパートナー室に掲示している。 | | 定期的な訓練を実施していきたい。 |
| 71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 避難通路などを把握し、通路をふさがないように整理整頓している。 | | 定期的な訓練しっかり行う。又、非常食など準備し整えておく。 |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|--|------------------------|----------------------------------|
| 72 | <p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている</p> | | |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | |
| 73 | <p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p> | | |
| 74 | <p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p> | | |
| 75 | <p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p> | | |
| 76 | <p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p> | | |
| 77 | <p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p> | | |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|--|--|------------------------|----------------------------------|
| 78 | 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等) | 職員の手洗い、うがいを励行している。又、その都度対策を話し合ったり、予防接種を行っている。 | | |
| 79 | 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | 衛生管理には留意しており、まな板や布巾、テーブルなどの消毒を行っている。又、食品は常に保存状態をチェックしている。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | |
| 80 | 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | 玄関やエントランスに花を飾ったり、ソファを置いたりと明るくくつろげるようにしている。またコーヒーやソフトクリームなどを用意している。 | | |
| 81 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 玄関やリビングに花を飾ったり、季節に応じた装飾や音楽を流したりしている。 | | |
| 82 | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 個室以外にリビングの一角や、エントランスにソファやテーブルを置き自由に過ごせる空間作りをしている。 | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--|---|------------------------|----------------------------------|
| <p>83</p> <p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>家で使用していた馴染みの物を持ってきていただいている。タンスや食器など</p> | | |
| <p>84</p> <p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p> | <p>常に換気を行っている。室温調整は利用者に確認しながら行っている。</p> | | |
| (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | |
| <p>85</p> <p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p> | <p>居室、リビング共に利用者が動きやすい様にベットやテーブルの位置を工夫している。</p> | | |
| <p>86</p> <p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p> | <p>混乱されたときはゆっくりと納得いくまで話を聞く。分かることそうでないことを見極めることも大切だが職員の決め付けにならないようにし、無理に失敗を防ぐことはしない。</p> | | |
| <p>87</p> <p>建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p> | <p>花壇に花を植えたり、家庭菜園ほどの畑で野菜を作ったりしている。</p> | | |

( 部分は第三者評価との共通評価項目です)

| . サービスの成果に関する項目 | | 取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと) |
|-----------------|--|---|
| 項 目 | | |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている | ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない |
| 94 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない |
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない |

| 項 目 | | 取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こと) |
|-----|---|---|
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | 大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない |
| 98 | 職員は、生き活きと働けている | ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

日常生活のマニュアル、タイムスケジュールを作らず個々に応じた生活ができるよう支援している。

希望に応じて、家庭菜園で野菜を作ったり近所の方から渋柿を頂き干し柿を作るなど、利用者が入所する前の生活が継続できるように支援している。

一つ一つのことを利用者が納得できるまで話し合うことを徹底している。